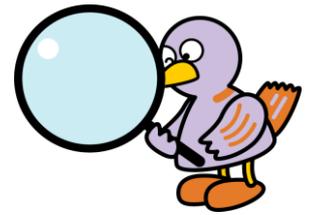


「知りたい」を応援！情報の探しかた講座

②知っここ！埼玉資料室



埼玉県のマスコットコバトン
(平成28年10月作成)

埼玉県立熊谷図書館 TEL048-523-6291 FAX048-523-6468

<https://www.lib.pref.saitama.jp/> (埼玉県立図書館のホームページ)

テーマについて



リニューアルした熊谷図書館に新たに出来た埼玉資料室。もう利用したことがあるという方はいらっしゃいますでしょうか。リニューアル前から熊谷図書館には埼玉資料のコーナーがありましたが、旧県立浦和図書館で所蔵していた埼玉資料がすべて熊谷図書館に移動したため、所蔵している資料が非常にバラエティ豊かになりました。どのような資料があるのか。どのように生かすのかを職員が、ご案内します。

埼玉資料室にはどのような資料があるのか



<図書資料>

○『埼玉大百科事典』(浦和 埼玉新聞社 1974-1975)全5巻【S030/サ】
埼玉県に関する百科事典です。埼玉県内に関する事からについて簡単にすばやく知りたい！という時に便利です。

○『新編埼玉県史』(埼玉県 1979-1993)通史編7巻、資料編26巻、別編5巻【S201/サ】
古代から現代まで、埼玉県全体の重要な歴史を取り上げています。通史編は、埼玉県全体の歴史をつかむのに重宝します。また、資料編では重要な古文書、行政資料、新聞記事などが翻刻(活字で掲載)されて読みやすくなっています。

○各市町村の市町村史
特定の地域について調べたい場合には、はじめから市町村史に当たる方法もあります。その地域にとって重要な古文書や、その他の資料が掲載されていることが多いので、調査に必須の資料です。合併前の市町村がそれぞれ市町村史を刊行している場合もあるため、調査地によっては合併前の市町村名で市町村史を調べるのも有効です。

○埼玉ゆかりの人物の資料
埼玉県にゆかりのある人物の資料を多数所蔵しています。特に、埼玉ゆかりの偉人として知られる、「塙保己一」「渋沢栄一」「荻野吟子」の資料は豊富で、「渋沢栄一」に関する資料の一部は、埼玉資料室の一角にまとめて棚に並べられています。

○『埼玉苗字辞典』(茂木和平著 茂木和平 2004)全4巻【S288.1/サイ】
膨大な文献類に記載されている名字・氏・人物情報をまとめ、50音順に配列しています。その名字がどの地域に分布していたか、由来のほか、氏・人物の情報もあり、人物調査のときによく利用される資料です。一部についてはインターネット上でも公開されています。(<http://saitama-myouji.my.coocan.jp/> 埼玉苗字辞典 2016/10/25 最終確認)

○『新編武蔵風土記稿』(蘆田伊人編集校訂 雄山閣 1996)全12巻、索引編【S290.1/シ】
徳川幕府が、文化7年(1810)～文政11年(1828)にかけて編纂した武蔵国の地誌です。江戸時代後期の各村の状況を知る上で欠かせない基本資料です。由来が掲載されている地名もあります。

○『武蔵国郡村誌』(埼玉県編 埼玉県立図書館 1953)全 15 巻【S290.1/サ】

明治 8(1875)年の太政官布告により全国で行われた地誌編纂により、埼玉県が地理寮に提出したものです。明治初期の各村の状況がわかります。

○『埼玉縣市町村誌』(埼玉県教育委員会 1972)全 20 巻【S290.1/サ】

明治 9(1876)年～昭和 45(1970)年頃までを対象とした、各市町村の地誌で、市町村ごとの項目になっています。近世の領有関係と町村施行までの行政区画が表になっており、市町村合併についてわかりやすくなっています。

○地名辞典

埼玉県内の地名に関する資料を多数所蔵しています。その中でも、『角川日本地名大辞典 11 埼玉県』(角川書店 1988)【S290.3/カ】、『埼玉県の地名 日本歴史地名大系 第 11 巻』(平凡社 1993)【S290.34/サ】、『埼玉県地名誌 名義の研究』は地名に関する調査の際によく活用しています。

○各種統計資料

埼玉県の統計については、『埼玉県統計書』～『埼玉県統計年鑑』を明治 10 年から平成 27 年(2016.1 発行)まで所蔵しています。ほかに、市町村毎に統計を発行している場合には各市町村の統計も所蔵しており、熊谷市だと昭和 50 年～平成 26 年度版(2016.1 発行)までの統計資料を所蔵しています。

○商工名鑑

市町村単位で企業の一覧をみることができます。市町村によって発行状況が異なりますが、ほぼ 1970 年代から 1990 年代まで刊行されています。

○埼玉県内の郷土料理・グルメガイド

埼玉県内に昔から伝わる郷土料理の作り方が記述されている資料から、『埼玉S級グルメ るるぶ特別編集』(JTBパブリッシング企画・編集・制作 埼玉県 2016)といった最新のグルメガイドなどを所蔵しています。グルメガイドについてはまとめて市町村広報誌の棚の上に並べられています。

○埼玉県内のスポーツ関連資料

埼玉県内の高校野球やプロスポーツチーム(西武ライオンズ・大宮アルディージャ・浦和レッズなど)の資料を所蔵しています。高校野球に関しては『高校野球グラフ 全国高校野球選手権埼玉大会』を 1976 年～現在まで各年のものを所蔵しています。

【地図資料】

○「住宅地図」

埼玉県内の各市町村の住宅地図を所蔵しています。旧浦和市の住宅地図(『浦和市動態図鑑』)の場合 1958 年に出版された資料から現在の資料を、熊谷市の場合 1971 年～現在までの資料を所蔵しています。

○「火災保険地図」

住宅地図よりさらに過去の様子を知りたい場合に活用します。もともとは名前の通り火災保険会社が保険料率計算のために作成した地図のため、すべての市町村の地図があるわけではありませんが、該当地域の地図がある場合には、住宅地図よりもさらに遡って当時の状況を知ることが可能です。作成年代は昭和のはじめ頃から 30 年にかけてのものになります。

○「迅速測図」

明治 13 年～19 年に参謀本部陸軍部測量局によって作成された縮尺 1:20000 の地図で、埼玉県内では西部の山間部を除いた地域が作成されました。また、迅速測図は 1:20000 の縮尺ですが、1:25000 の地形図と比較しやすいように縮小調整した『明治前期関東平野地誌図集成 1880(明治 13)年～1886(明治 19)年』(地図資料編纂会編 柏書房 1989)も所蔵しています。また、インターネット上でも下記サイトからご覧いただけます。

(<http://habs.dc.affrc.go.jp/index.html> 歴史的農業環境閲覧システム)※お使いのブラウザによっては表示されない場合があります。

○「地形図」

縮尺 1:25000 の地図になります。年代は大正～平成にかけて地域毎に作成されており、浦和の場合 1924～2006 にかけて、熊谷の場合 1957～1999 にかけての地図を所蔵しています。

【逐次刊行物(雑誌や新聞)】

○市町村広報誌

埼玉県内の各市町村の広報誌を所蔵しています。埼玉資料室内にある資料は最新の年度のものだけですが、市町村広報誌も雑誌と同じく永年で保存しているため、過去の広報誌は書庫で保管しています。

○地域誌

地域密着型のフリーペーパーといった形式の雑誌も一部、埼玉資料室で所蔵しています。埼玉県内のある地域を調べる際にはその地域で発行している雑誌についても調べてみると新たな発見があるかもしれません。

○地域の新聞

3階閲覧室の新聞コーナーとは別に埼玉資料室では「埼玉の新聞」を所蔵しています。「埼玉新聞」は3階閲覧室内の新聞コーナーにあります。例えば「朝日新聞埼玉少年少女スポーツ」(朝日連合ファイブ(さいたま))「埼玉よみうり」(埼玉よみうり新聞社(熊谷))などを所蔵しています。また過去に発行されていて現在は休刊、廃刊となった埼玉の新聞も数多く所蔵しています。

【埼玉県についてのデータベース】

下記にご紹介するデータベースは埼玉県立図書館が独自で作成したデータベースで、埼玉資料室内で自由にご利用することが出来ます。

○埼玉関係雑誌記事索引データベース

埼玉県立図書館で作成している、埼玉県関係の雑誌類 82 タイトルの記事約 4 万 2000 件の見出し索引です。埼玉出身の人物や郷土史の調査で威力を発揮します。

○埼玉人物文献索引データベース

このデータベースは、埼玉県にゆかりのある人物について記述のある資料の書誌情報(埼玉県立図書館所蔵資料のみ)を収録していて、著者名のほか、異名・号(表記)から検索することができます。

○埼玉新聞記事見出し索引データベース

埼玉新聞に掲載された埼玉に関する記事を調べるデータベースで、記事見出し約 100 万件を検索することができます。調べられる期間は 1943 年 4 月 1 日から 2009 年 12 月 31 日まで、必要に応じて検索期間を絞り込むことが可能です。

【埼玉県立図書館デジタルライブラリー】

埼玉資料室では埼玉に関する貴重書を多数所蔵していますが、資料を永く保存するため、利用を制限させていただいている資料も多数あります。そのような資料をデジタル化し、埼玉県立図書館ウェブサイト上で公開しているのが下記サイトになります。

(https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/data/d_conts/index.html 埼玉県立図書館デジタルライブラリー)

実際に使ってみよう！



(事例1)川越市高階の地名の由来を知りたい。

【調査例】

◆地名辞典を確認する。

『角川日本地名大辞典 11 埼玉県』

p530「たかしなごう 高階郷」

「平安期に見える郷名。(中略)起伏に富む地形が郷名の由来。川越市高階の地に比定する説と中世の越生郷・毛呂郷に比定する説とがあるが、後者が妥当と考えられ、現在の越生町・毛呂山町付近一帯に比定される。」とあり。

『埼玉県地名誌 名義の研究』

p132「高階村(たかしな)」

「(前略)新たに高階村を設置した。新村名は、(1)関係村中の大村の名称をとること(2)各村の名称を相互折衷して新たな名称を付するとの二案があったが、いずれも異論がでて意見の一致をみず、やむなく「和名抄」に載る高階郷の名をとることとなった。」とあり。

◆旧自治体の市区町村史を確認する。

『高階村史』

p158「高階村という名称はどこから出たのであろうか。(中略)一般に考えられるところは平安時代に書かれた和名抄という書物の中に、当時の国名、郡名、郷名等が出ているが、その中に武蔵国入間郡の中に高階郷という郷名がある。高階郷がどこを指すものであるか学者の間に定説はないが、川越の南、不老川をこえた台地を高階郷というのではないかとの説もあった。おそらくこれを足場に明治二十二年に土地の有識者がこのことを意識して、この名称となったものであろう。」とあり。

(事例2)熊谷の銘菓「五家宝」について知りたい。

【調査例】

◆熊谷市の銘菓として有名なため、『埼玉大百科事典』を確認する。

『埼玉大百科事典 2』(埼玉新聞社 1974)

p256「五家宝」あり。

五家宝についての簡単な説明あり。関連項目として「熊谷五家宝」あり。

p129「熊谷五家宝」

五家宝の名前の由来等あり。製作者の一人として「清水庄次郎」の名前あり。

→『熊谷人物事典』(日下部朝一郎編著 国書刊行会 1982)

p186「清水庄次郎」あり。

五家宝が今の形になった由来や、名前の由来について記述あり。

(事例3)児玉町に住んでいた堀越弥三郎について知りたい。九郷用水と関連があるらしい。

【調査例】

◆人名辞典を確認する。

『埼玉人物事典』(埼玉県教育委員会編 埼玉県 1998)

p719「堀越弥三郎」あり。

記述量があまり多くなく、詳細がわからず。

◆九郷用水についての資料を確認する。

『「埼玉県の川にまつわる郷土史」調査報告書』(日本河川協会彩の川研究会 2012)

p103-「九郷用水、神流川取水口建設と水争いの歴史」

『児玉の民話と伝説 上巻』を参考にしたという記述がある。

→『児玉の民話と伝説 上巻』(田島三郎著 児玉町民話研究会編 児玉町民話研究会 1984)

p191「久郷に水を」

「堀越弥三郎さんは、天保九年(一八三八)、児玉八幡山に生まれて…」、九郷用水に関わる堀越弥三郎の活動についての記述あり。